

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【植竹小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語の「漢字を文の中で正しく使う」ことについて若干の課題がある <指導上の課題> 基礎的・基本的な知識技能について二極化傾向がある。個別に必要な支援を講じる必要がある	⇒ 学習活動の中で、書き込み式ドリルやドリルパーク、スタディサプリ等のアプリを効果的に活用し、一人ひとりの課題に合った学習を進めていく【週に1度】。 学びのポイント【し・しゃ・く】を意識した児童を主体とした学習活動を展開し、成果や課題を共有していく【月に1度】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語の「相手の意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる」ことについて、課題がみられる <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させる必要がある。	⇒ 協働的な学びを取り入れ、相手と自分の考えの相違点を意識させながら意見交換し、記録できるような活動を行っていく【1年間】。 各教科の学習活動において、根拠資料をもとに自分の考えをまとめ、相手にわかりやすく伝える活動を行う【1年間】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3> (4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現	結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)